

第10回 教育フォーラム in 九州産業大学

「高・大・社接続における学びの展開」

日時：平成30年2月17日（土）14時00分～17時00分

場所：1号館1階S101番教室

対象：大学の教育職員、大学の事務職員、高校教職員、教育関係者、一般など

趣旨

昨今、様々な所で話題になっている「高大接続システム改革」につきましては、平成28年3月に公表された「高大接続システム改革会議 最終報告」にも記載されているとおり、国内における人口減少、生産年齢人口の急減、地方創生への対応やグローバル化・多極化の進展、産業構造や就業構造の転換などを背景として、高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜改革を一体的に改革し、学力の3要素を基盤に予測困難な社会で活躍できる人材を輩出することが求められています。

また、本改革の主な内容として、高等学校教育では、①学習指導要領の改訂、②学習・指導方法の改善（アクティブ・ラーニング）、③高等学校基礎学力テスト、大学教育では、①3つのポリシー策定の義務化、②認証評価制度改革、大学入学者選抜では、①個別大学における入学者選抜改革、②大学入学共通テストなどがあります。

この改革の根底には、今後の社会変動を念頭においた社会からの高等学校教育及び大学教育に対する大きな期待があり、この改革の先には『社会』と密接につながっていくことこそが重要であると考えられることから、「高・大・社接続」という枠組みで捉え、「高大接続」、「高社接続」、「大社接続」を意識した教育を展開していくことが求められていると言っても過言ではありません。

このような状況のもと、高等学校及び大学の教育現場では、一人ひとりの生徒及び学生に合った学習方法や学習内容などの教育を展開しているにもかかわらず、教育機関における経営の観点から、入学者選抜の段階で、丁寧な評価よりも生徒・学生確保が、やむを得ず優先されることで、高等学校、大学、学部、学科などのミスマッチなどにより、学業不振、不登校、中退となるケースも少なくありません。

そこで、今回のフォーラムでは、「高等学校・大学・企業（教育に関係する機関）において展開されている学びを共有した上で、今後のグローバル化の急速な進展、本格的な人口減少社会、生産年齢人口の減少、超高齢社会の到来の中で、高等学校教育の方向性、大学で求められる学び、入学者選抜の在り方など」について、高等学校と大学と企業の三者で幅広く議論を展開することを通して、共通認識を深め、教育現場での課題解決への次の一步を明らかにできればと考えております。

最後に、今回のテーマは、「高・大・社接続における学びの展開」として、講演には、国立教育政策研究所高等教育研究部の研究員である立石 慎治（たていし しんじ）先生、群馬県立大間々高等学校の飯塚 秀彦（いづか ひでひこ）先生及び英進館株式会社の筒井 俊英（つつい としひで）社長をお招きして開催いたしますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

1. 学長挨拶 (14:00～14:05) (5分) 山本 盤男 (九州産業大学長)
2. 講演① (14:05～14:45) (40分講演) 立石 慎治 氏 (国立教育政策研究所高等教育研究部 研究員)
3. 講演② (14:45～15:15) (30分講演) 飯塚 秀彦 氏 (群馬県立 大間々高等学校 教諭)
- 休憩 — (15:15～15:25) (10分)
- 講演③ (15:25～15:45) (20分講演) 筒井 俊英 氏 (英進館株式会社 社長)
4. パネルディスカッション (15:45～16:55) (70分)
テーマ：「高・大・社接続における学びの展開」
パネリスト：3名 ①立石 慎治 氏 ②飯塚 秀彦 氏 ③筒井 俊英 氏
コーディネーター： 間間 理 氏 (九州産業大学 経営学部教授)
5. 閉会挨拶 (16:55～17:00) (5分) 秋山 優 (九州産業大学 教務部長)

以上